

第12回「日本語体験コンテストin上海」 実施報告書

〔開催日時〕 2014 年 9 月 20 日(土)

予選会 12:00～、本選会 13:30～、表彰式 17:00～

〔場 所〕 中華人民共和国 上海市甘泉外国語中学

〔共 催〕 一般財団法人共立国際交流奨学財団 東京本部・上海委託事務所

〔後 援〕 文部科学省

在上海日本国総領事館

ANA 全日本空輸株式会社 上海・杭州支店

〔協 賛〕 株式会社 共立メンテナンス



上段左より：甘泉中学教職員・学生 7 名、張 国強様(中国教育学会顧問)、甘泉中学教職員
中段左より：越前谷審査委員長、江副実行委員長、劉副委員長（甘泉中学校長）、范氏(上海市普陀区教育局局长)、丸山 浩一首席領事(在上海日本国総領事館)、刘氏(上海市教育委員会)、樋口領事(在上海日本総領事館)、石塚副実行委員長、日野副支店長（ANA 上海支店）
下段左より：楼 巧飛、樊 怡舟、仲 鑫、伏 诗宣、蔡 蕴多、周 倩慧

〈総評〉

「日本語体験コンテスト in 上海」は今年で、12回目を迎えました。

今年度の予選会は94名が参加し、日本の政治、経済、文化、文学、歴史、地理、社会、流行などについての聞き取り問題30問を日本語で出題し、日本語能力だけではなく日本についての知識を試しました。30問のうち高得点を獲得した18名が予選会を通過しました。

本選会では、3つのテーマから1つを選んで3分間の即興スピーチが実施されました。今回は、「①わたしが日本人に紹介したい中国の有名人は」「②私が訪れてみたい日本の世界遺産は」「③私が社長だったら、日本企業と一緒に作りたいたいものは」と以上の課題から1つを選択し、5分のシンキングタイムの後、3分間の即興スピーチを行いました。

審査委員3名による審査の結果、6名が入賞し、賞状と賞品目録が授与されました。

入賞者は、2015年1月に開催する5泊6日の「共立賞」（日本体験旅行）が贈られました。

この「共立賞」の日本体験旅行で、日本の学校見学、研修観光等のプログラムを通じ、日本を体験する予定です。

〈実施報告〉

■ 予選会

	時 間	内 容
予選会	12:00~12:05 12:05~	開会の辞・注意事項説明 予選会(日本語聞き取り問題30問)

日本の政治、経済、文化、文学、歴史、地理、社会、流行などについての聞き取り問題30問



予選会の様子

■ 本選会

	時 間	内 容
本選会	13:30～ 13:40～ 13:50～13:55 13:55～	予選会通過者発表 開会の辞・審査委員紹介・注意事項説明 シンキングタイム スピーチコンテスト

●予選通過者：18名 ⇒ ●入賞者：6名

課題： ①わたしが日本人に紹介したいミャンマーの有名人は…
②わたしが訪れてみたい日本の世界遺産は…
③わたしが社長だったら、日本企業と一緒につくりたいものは…



スピーチの様子



■表彰式

	時間	内容
表彰式	17:00～	入賞者発表

～式次第～

- 一、開会の辞
- 一、実行委員長挨拶
- 一、来賓紹介
- 一、来賓挨拶
- 一、審査委員長講評
- 一、副実行委員長挨拶
- 一、入賞者発表
- 一、賞品授与



江副実行委員長挨拶
学校法人江副学園 理事長



刘副実行委員長挨拶
上海市甘泉外国語中学 校長



来賓挨拶 樋口様
在上海日本国総領事館 領事



来賓挨拶 日野様
全日本空輸株式会社上海支店
副支店長



賞状と目録を授与



賞状と目録を授与



日野様より ANA の記念品を贈呈

【入賞者】『共立賞・日本体験旅行』



左より 蔡 蕴多、周 倩慧、仲 鑫、樊 怡舟、楼 巧飛、伏 诗宣

氏名	所属学校
フク シセン 伏 诗宣	上海市甘泉外国語中学
サイ ウン タ 蔡 蕴多	上海市甘泉外国語中学
シュウ セイケイ 周 倩慧	上海市甘泉外国語中学
チュウ キン 仲 鑫	南通大学杏林学院
ハン イ ショウ 樊 怡舟	東華大学
ロウ コウヒ 楼 巧飛	上海对外経貿大学

入賞者 6 名には入賞賞品として、2015 年 1 月 28 日（月）～2 月 2 日（月）（5 泊 6 日）の「共立賞・日本体験旅行」に招待致します。

講 評



審査委員長 越前谷 明子
東京農工大学 名誉教授

上海でのコンテストは今年で12回目です。例年通り、予選会が行われ、この予選会を通じた19名（女性13名、男性6名）による日本語での3分間スピーチの本選がいよいよ始まりました。男性1名が欠場しましたが、18名のそれぞれのスピーチは、時には熱く、時にはクールに会場の人々に語りかけ、審査をする者へもその思いは十分に伝わるものでした。

与えられたテーマは、① わたしが日本人に紹介したい中国の有名人は・・・、

② わたしが訪れてみたい日本の世界遺産は・・・、③ わたしが社長だったら、日本企業と一緒に作りたいたいものは・・・、という3つです。テーマに沿って、アナと雪の女王、中国で有名な小説家やピアニスト、ウルトラマン、日中翻訳機の開発、日中友好プロジェクトの立ち上げ等々、皆さんが取り上げた対象は多種多彩で、どのスピーチも聞き手の興味を引き付けるのに十分な内容となっていました。

5分間で、辞書等を見ることなく日本語のスピーチを組み立て、自分の意見を正しく相手に伝えるのは大変だろうと思いますが、文法や語彙の選択等、日本語の基礎力はしっかりと身につけていることはよくわかりました。これは、学生一人一人の努力の結果であることは言うまでもありませんが、教えていらっしゃる先生方のお力の賜物でもあると強く感じました。

審査の結果、6名の入賞者が決まり、「夢、日本体験賞」として5泊6日の北海道旅行がプレゼントされることになりました。今回入賞できなかった発表者の中には、時間をオーバーしたり、手元の紙を読んでいた人も若干名あり、約束事がきちんと守られないと、内容的にはよくても残念な結果になってしまいます。またこれは皆さんに通じることかもしれませんが、さらに日本語を磨くためにも、日本語の非言語行動にも目を向けて、観察、分析、練習を積み上げていってくださることを期待しています。



審査委員 新妻 里紗
共立財団日本語学院 教員

「日本語体験コンテスト in 上海」の審査員を務めさせていただくことになり、今年はどんなスピーチを聞くことができるのかと楽しみにしておりました。今年も発表者の日本語の表現力とスピーチ能力のレベルの高さに驚かされました。特に高校生のレベルの高さは年々高くなっているのではないかと感じました。このスピーチコンテストの為に、各学校で何度も先生の指導を受け、回を重ねて練習してきたことがわかるようなスピーチでした。また、聴衆に語りかけるようスピーチしていた発表者もあり、話し方の印象という点でも発表者それぞれの個性が出ていたと思います。

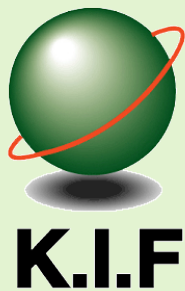
本選会のスピーチ課題は

1. わたしが日本人に紹介したいわたしの国の有名人は…
2. わたしが訪れてみたい日本の世界遺産は…
3. わたしが社長だったら、日本企業と一緒に作りたいたものは…

本選会では1と3の課題についてスピーチする発表者が多く、内容が似通ってしまうのでは…と思いましたが、それぞれ個性ある発表で非常に楽しく聞かせていただきました。

入賞者6名のスピーチの共通点は、文法や発音はもちろんのこと、与えられた時間内に筋道を立てて聴衆がわかりやすいようにスピーチを構成していたことです。「決められた時間内で他人に自分の考えを伝える。」という到達点に達するには、順序よくわかりやすく話すことということが大きなポイントになります。

「日本語体験コンテスト」は、日頃の日本語学習の成果を発表できるいい機会でもありまし、たくさんの聴衆の前で話すというなかなか体験することのできない良い経験にもなります。来年もたくさんの方が応募し、多彩なスピーチが繰り広げられることを期待しております。



一般財団法人 共立国際交流奨学財団

所在地：〒101-0021

東京都千代田区外神田 2 丁目 18 番 8 号

T E L : 03-5295-0205

F A X : 03-5295-0206

U R L : <http://www.kif-org.com>